

仙台市特別支援教育推進プラン 2018

概要版

5年間の取り組み

テーマ1 ふかめる

障害理解教育の推進 (3)	推進資料作成及び啓発 人権教育資料の活用 差別解消等に関する教育の推進
様々な障害の理解促進 (3)	様々な障害の理解促進 愛着障害などの新たな課題の理解促進
交流及び共同学習の充実 (3)	協議会等での実践報告 心のバリアフリー推進事業実施 居住地校交流の普及
保護者・市民への啓発 (4)	学習活動への市民参加の促進 学習活動の積極的な広報 市民公開講座の積極的な広報 市民団体との作品展等の共催

テーマ2 つくる

多様な学びの場の充実	児童生徒数に応じた通級指導教室の設置 学びの場の選択への柔軟な対応
管理職のリーダーシップによる体制の充実 (1)	新任管理職研修の内容の充実 関係機関と連携する際の役割の明確化
校内就学支援体制の充実 (1)	校内委員会を中心とした校内体制の充実 就学支援手引き書の作成・活用 新就学児の相談体制の充実 教育相談等の校内研修の充実
多様なニーズに対応するための支援体制の充実 (1)	専門スタッフの配置・研修の充実 専門職の一層の活用 医療的ケア対象児への支援体制整備 入院中の児童生徒の教育のあり方検討
合理的配慮と基礎的環境整備の提供 (1)(2)	研修会等を活用した事項の周知 ユニバーサルデザインの授業づくりの推進 ICT活用の実践研究の推進
特別支援教育コーディネーターの活動の充実 (1)	校内体制のあり方検討 地区別連絡協議会の取組の充実 養成研修・向上研修の充実
鶴谷特別支援学校のセンター的機能の充実	学校等への支援機能の充実 研修協力機能の充実
高等学校等における特別支援教育体制の充実	特別支援教育の理解促進 通級による指導のあり方検討

(1)~(4)は、いじめ防止への取組との関連を示しています。

- (1) 校内での組織的対応
- (2) 児童生徒一人ひとりに応じた支援
- (3) 互いに認め合える集団づくり
- (4) 保護者・関係機関等との連携

テーマ3 たかめる

教員の指導力の向上 (2)	研修の充実 体制づくりと連絡会の実施 実践研究協力校の認定 大学の研究者との研究推進
通常の学級・特別支援学級・通級指導教室の教育力の向上 (2)	発達障害児等への対応の指導助言 パワーアップサポート事業の推進 教員の育成と配置のあり方検討 免許状取得のための講習受講推奨
通級による指導の充実	連絡会による研修の充実 通級新担当者研修の充実
鶴谷特別支援学校の教育力の向上	校内研究の充実と成果の発信 教育課程の見直し・実施 特別支援学校教諭免許状保有の推奨 特性に応じた就労支援の充実

テーマ4 つなぐ

学校・家庭・地域社会の連携の充実 (4)	推進資料の作成と啓発 特別支援教育コーディネーターの役割の理解 地域の人々との交流推進
関係機関の相互連携の強化 (4)	連携組織のあり方検討と連携の推進 「個別の教育支援計画」を活用した連携の推進 児童館や放課後等デイサービス等との連携 青少年対策六機関での連携の推進
いじめ防止・不登校等予防への対応 (4)	発達障害に対する理解促進 コーディネーターといじめ対策担当教諭等の連携 連携における「個別の教育支援計画」の活用 青少年対策六機関での連携の推進
「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」の作成と活用の推進 (2)(4)	関係機関等との連携における活用の推進 通常の学級在籍児童生徒への作成推進と活用
幼保小・小中・中高の連携の強化 (4)	サポートファイルの活用推進 「個別の教育支援計画」等の確実な引継ぎ 仙台中高連携サポートシートの活用促進 進路についての研修の充実 コーディネーター地区別連絡協議会への参加
「仙台自分づくり教育」・就労支援の推進	「仙台自分づくり教育」の推進 生涯学習のあり方検討 教育委員会での職場体験実習等の受入れ 各学校への情報提供と周知

プランの推進にあたって

- 定期的に点検・評価を行い、着実な遂行に努めていきます。
- 医療、保健、福祉、労働等の各機関と連携・協働しながら進めていきます。
- 国の動向や本市の状況変化による課題や新たなニーズに対して的確な対応に努めていきます。



プランの基本的な考え方

◆策定の趣旨と位置付け

このプランは、障害のある子どもたちのみならず、これからの共生社会を形成していく全ての子どもたちのために、本市が目指す特別支援教育の実現に向けて、主に学校教育において今後取り組む施策の方向性を定めたものです。「第2期仙台市教育振興基本計画」「仙台市障害を理由とする差別をなくし障害のある人もない人も共に暮らしやすいまちをつくる条例」等に示された基本方針を踏まえ、策定しました。

本市においては、いじめ、不登校、学力向上など、種々の重要な教育的課題に直面しています。互いを理解・尊重する子どもの育成、学校の支援体制の整備、教員の指導力の向上、関係機関との連携推進等、このプランで掲げている特別支援教育推進のための施策は、本市の教育的課題への取組にも直結するものです。

◆プランの期間

平成30年度(2018)から平成34年度(2022)までの5年間とします。

目標と方向性

本市の特別支援教育が目指すものを「大切なひとり 共に生きるみんな」とし、その実現に向け、重点的に推進する4つのテーマを設け、今後の基本的な方向性と各種施策を示しました。

仙台の特別支援教育が目指すもの
大切なひとり 共に生きるみんな

私たち市民が育てたい子ども像
認め合い、学び合う仙台の子ども

テーマ1
ふかめる

共生社会の実現に向け、相互理解を深めます

テーマ2
つくる

特別支援教育推進のための体制をつくります

テーマ3
たかめる

学校の教育力や教員の指導力を高めます

テーマ4
つなぐ

切れ目のない支援のため、学校・家庭・関係機関をつなぎます

仙台の特別支援教育が目指すもの 大切なひとり 共に生きるみんな

重点的に推進する4つのテーマ

テーマ1 ふかめる

- 全ての市立学校において、通常の学級における障害理解教育の一層の推進を図ります。
- 障害のある子どもと障害のない子どもの交流及び共同学習の充実を図ります。
- 障害児・障害者理解のための保護者や市民への啓発を推進します。



障害者アスリートとの交流

テーマ2 つくる

- 多様な学びの場の一層の整備を図ります。
- 合理的配慮と基礎的環境整備の充実を図ります。
- 特別支援教育コーディネーターの活動の充実を図ります。
- 鶴谷特別支援学校のセンター的機能の充実を図ります。
- 高等学校等における特別支援教育体制の充実を図ります。



ICTを活用した学習

テーマ3 たかめる

- 全ての教員が障害のある子ども一人ひとりに応じた適切な指導・支援ができるように、指導力の向上に取り組みます。
- 通常の学級・特別支援学級・通級指導教室の教育力向上と教員の指導力向上、研究の推進を図ります。
- 鶴谷特別支援学校の教育力の向上を図ります。



教員を対象とした研修

テーマ4 つなぐ

- 学校・家庭・関係機関による横の連携の充実に努めます。
- 障害などが関連すると考えられるいじめ、不登校、非行等の課題に、特別支援教育の視点を加えた対応を進めます。
- ライフステージを通じた一貫した支援のために引継ぎを充実させ、縦の連携の強化に努めます。

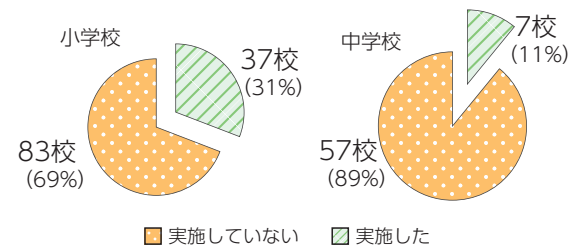


関係機関との連携会議

主な課題

障害のある方と触れ合う交流活動や障害理解を深めるための取組が求められます。

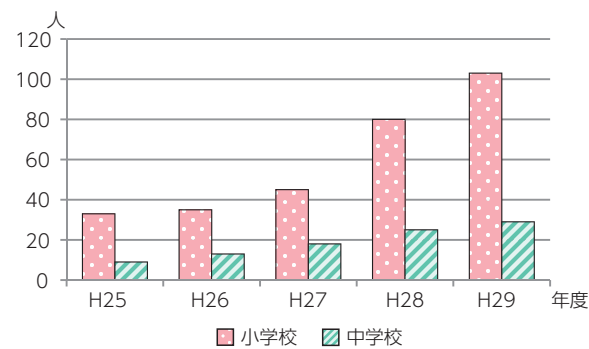
障害のある方との交流活動を実施した学校数（平成28年度）



実施している学校は少なく、中学校は10%程度にとどまっている

子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援の充実が求められます。

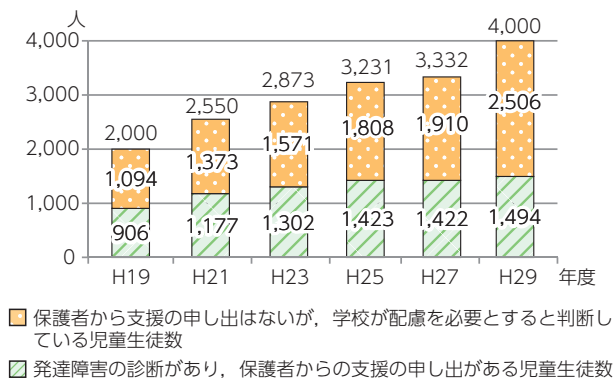
LD・ADHD等通級指導教室への通級児童生徒数の推移



通級児童生徒数は年々増加し、この5年で約3倍になっている

全ての教員が特別支援教育に対する理解を深め、指導力を向上させることが求められます。

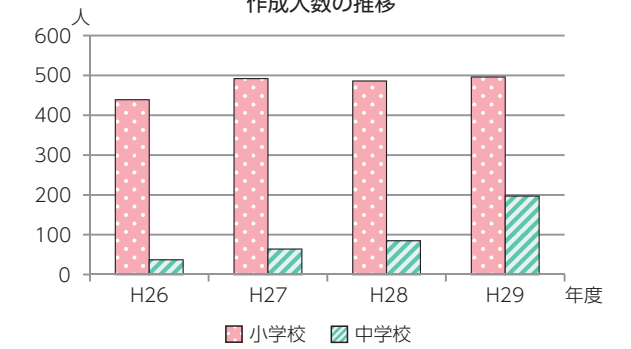
小中学校の通常の学級に在籍する発達障害及び発達障害等の可能性のある児童生徒数の推移



通常の学級に在籍する発達障害及び発達障害の可能性のある児童生徒数はこの10年で2倍になっている

切れ目のない一貫した支援のため「個別的教育支援計画」等、作成の推進が求められます。

通常の学級に在籍する児童生徒の「個別的教育支援計画」作成人数の推移



支援を要する児童生徒の増加に対し、作成人数の伸びが伴っていない